Obbli

2026年度（第２四半期）
決算説明資料

2026年11月10日
三愛オブリ株式会社（証券コード：8097）

本資料に関する注意事項

三愛オブリ株式会社

本資料は、三愛オブリ株式会社（以下、「当社」）が、2026年11月11日に開催する決算説明会資料です。

本資料に記載されている情報は、発表日現在の当社が入手している情報に基づいて作成されたものであり、将来の業績を保証するものではありません。

本資料には、当社の経営計画、将来の業績見通しなど、将来の事項に関する記述が含まれています。これらの記述は現時点における当社の判断に基づいて作成しており、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性を伴うため、これらの記述とは大きく異なる可能性があります。

また、当社は、本資料に記載された情報に基づいておこなわれたいかなる投資行為についても責任を負いません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断においておこなうようお願い申しあげます。

【本資料における表記について】

- **本資料の数値について、経営成績は原則として百万円単位で記載しております。**
- **４月から始まる会計年度の表記としており、2027年3月期（2026年4月から2027年3月まで）の会計期間は「2026年度」または「FY2026」と表記しております。**

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

目次

Obbli 三愛オブリ株式会社

INDEX

1. 2026年度 第２四半期 決算概要

2. 業績の進捗と株主還元

3. 本事業年度のトピックス

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

1 2026年度 第２四半期 決算概要

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

事業の概要

Obbli 三愛オブリ株式会社



石油関連事業

特約店への卸売や工場向け等の産業用燃料油・潤滑油の販売、SS(サービスステーション)での小売販売を通して全国に石油製品を供給している。（2026年9月30日現在 系列SS 974ヶ所）



化学品関連事業

自社製品として防腐・防かび剤、自動車用ケミカル商品等の製造販売をおこなっている。また、石油系溶剤、粘着付与剤等の卸売販売をおこなっている。



ガス関連事業

LPガス販売業では、関東・東海エリア、中国・近畿エリア、九州エリアを中心に家庭用、業務用LPガスの販売およびリフォーム・ガス器具販売等を展開している。（2026年9月30日現在 小売顧客軒数130千軒）

天然ガス販売業では、佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、佐賀県における一般消費者への都市ガスの供給などをおこなっている。



航空関連事業

羽田空港での航空機給油施設の運営および給油業務のほか、北海道から沖縄まで全国28ヶ所で給油業務や給油施設の管理等をおこなっている。



その他事業

金属製品等の洗浄・表面処理業、建設工事業等をおこなっている。近年は半導体製造装置の部品洗浄の収益割合が大きくなっている。

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

経営成績とポイント

Obbli 三愛オブリ株式会社

2026年度 第２四半期 経営成績

（百万円）

	FY2025 2Q	FY2026 2Q	前年同期比	前年同期 差異
売上高	308,364	301,942	-2.1%	-6,421
営業利益	3,784	6,816	+80.1%	+3,031
経常利益	4,310	7,523	+74.6%	+3,213
親会社株主に帰属する中間純利益	2,828	4,822	+70.5%	+1,993

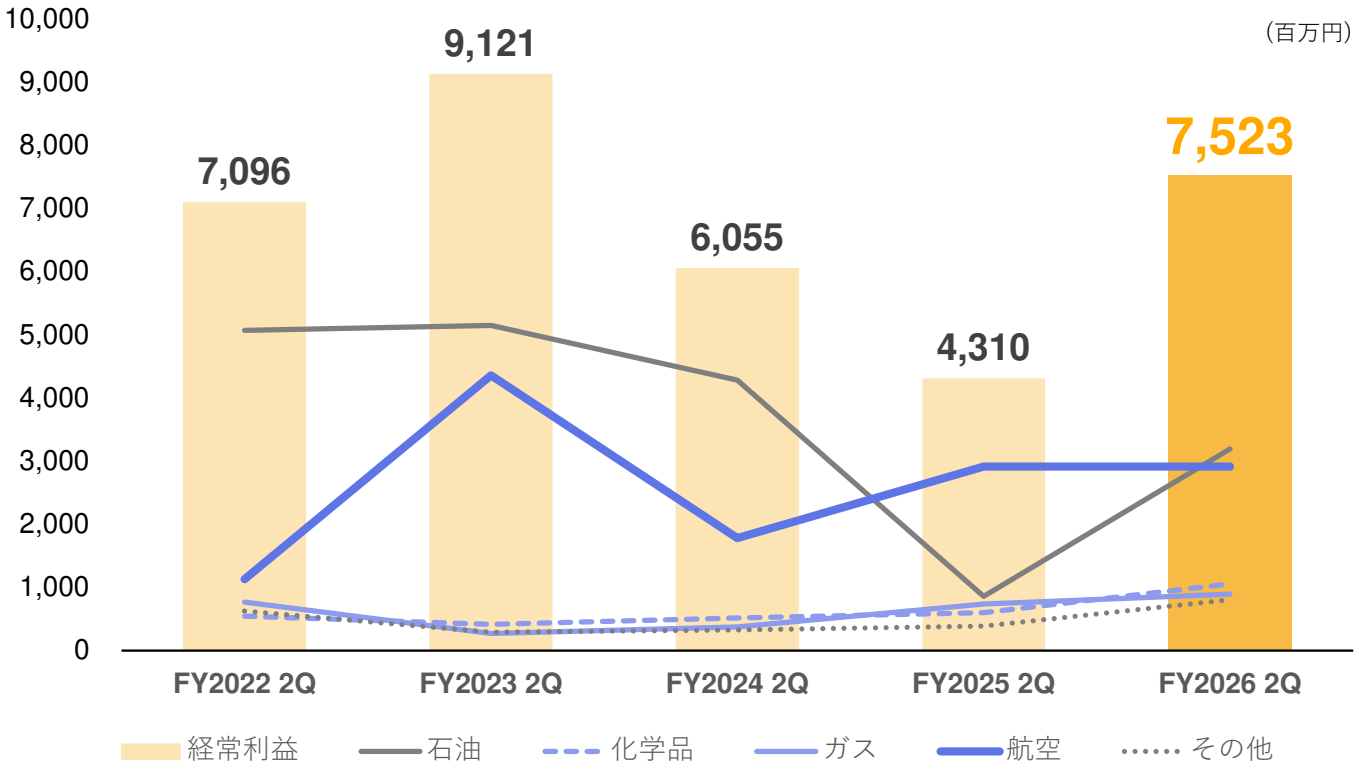
- 売上高　　：石油製品の販売数量減少によりやや減収
- 経常利益　：石油関連事業の業績が回復したことに加えて、化学品関連事業が好調に推移
- 中間純利益：全セグメントにおいて前年同期比で増益となり、順調に進捗

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

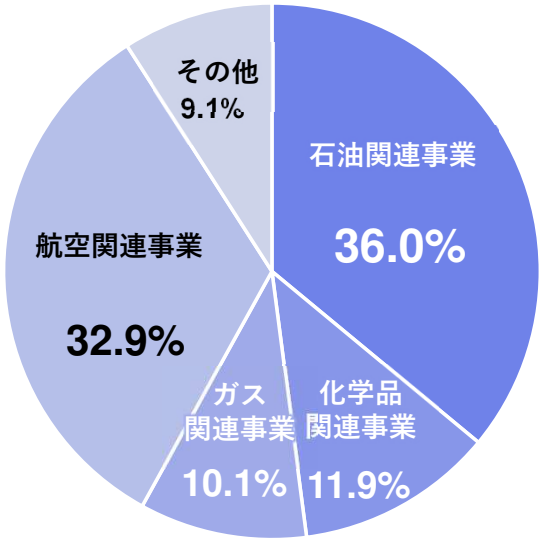
セグメント別 経常利益の推移

Obbli 三愛オブリ株式会社

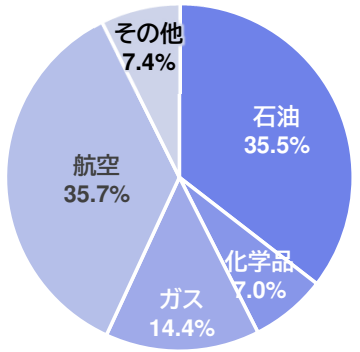
- 石油関連事業は、前年同期に落ち込んだキグナス石油株式会社の業績が回復
- 航空関連事業は、航空燃料取扱数量が前年同期からやや減少したものの、利益は底堅く推移



FY2026 2Q



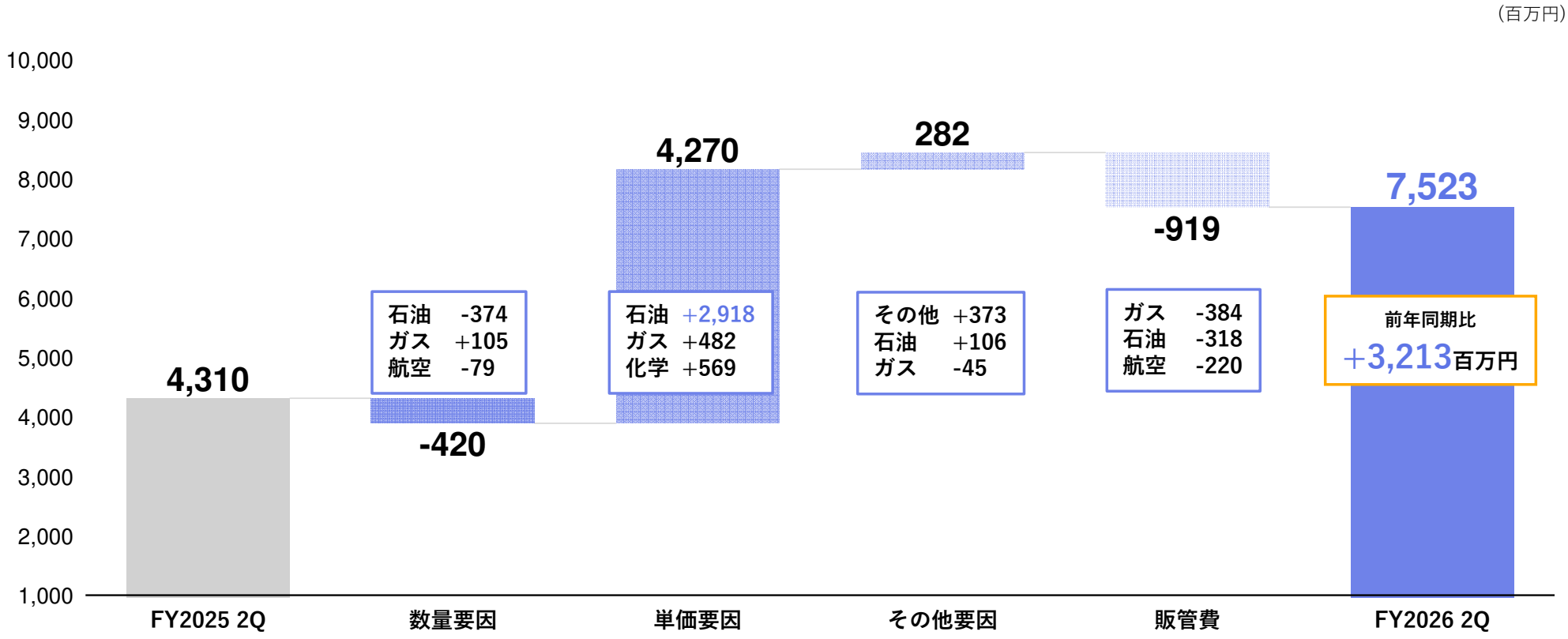
FY2025 通期



Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

経常利益 前年同期比 増減内訳

Obbli 三愛オブリ株式会社



- 在庫による損益影響は単価要因に含まれる。
- その他要因には航空燃料取扱手数料を除く手数料収入および完成工事高の増減、営業外損益が含まれている。

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

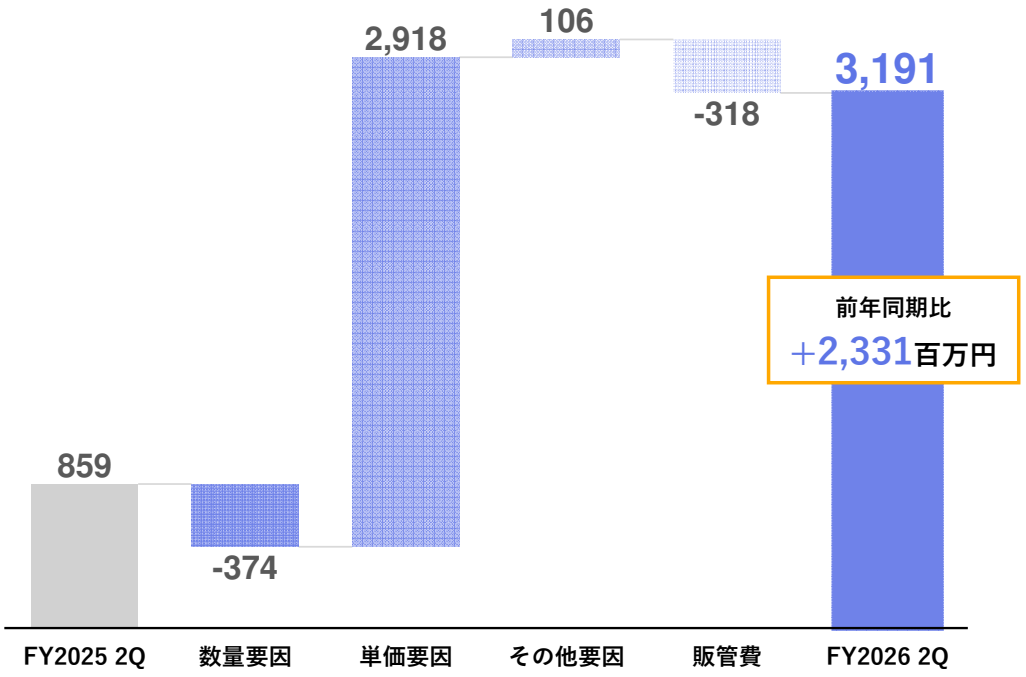
セグメント別 増減要因

三愛オブリ株式会社

石油関連事業

前年同期に収益性の悪化がみられたキグナス石油㈱の業績が回復
直営SSはレジャーシーズンの悪天候などもあり、販売数量が減少

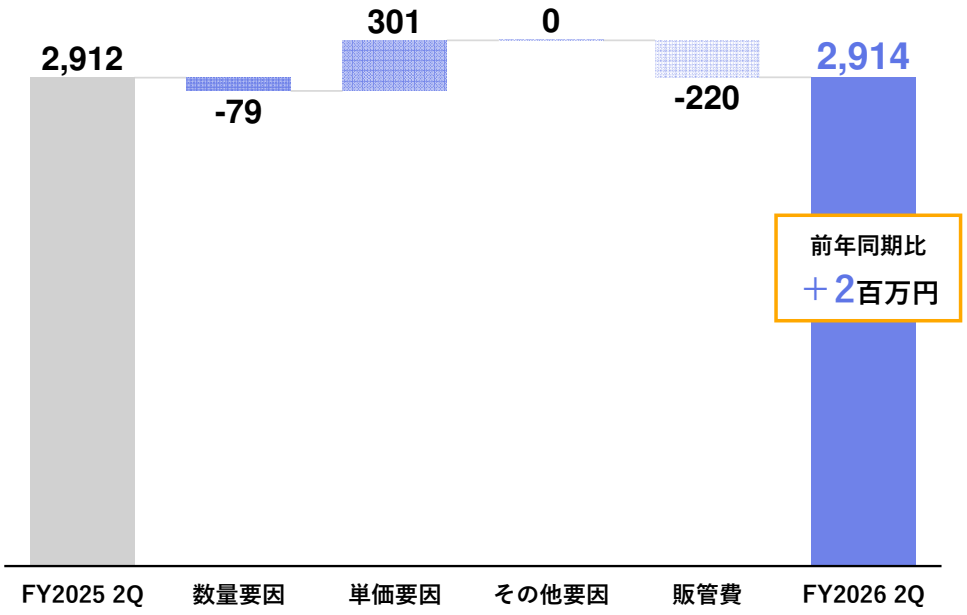
（百万円）



航空関連事業

羽田空港における航空燃料取扱数量は天候不順による欠航などにより、やや減少
給油手数料の単価上昇により増益

（百万円）



Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

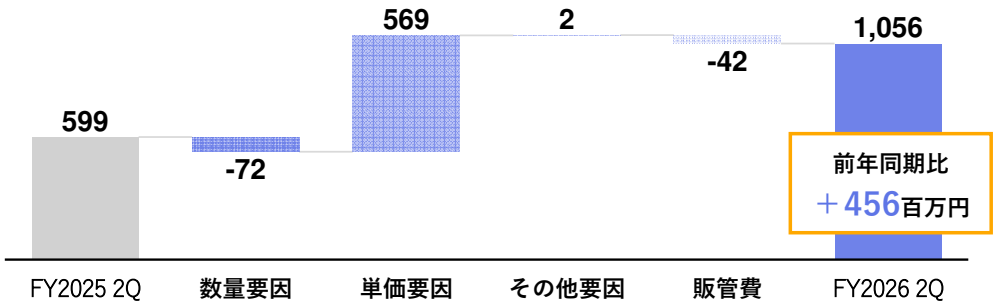
セグメント別 増減要因

Obbli 三愛オブリ株式会社

化学品関連事業

防腐・防かび剤は高付加価値商品を拡販
石油系溶剤・粘着付与剤などの駆け込み需要により増益

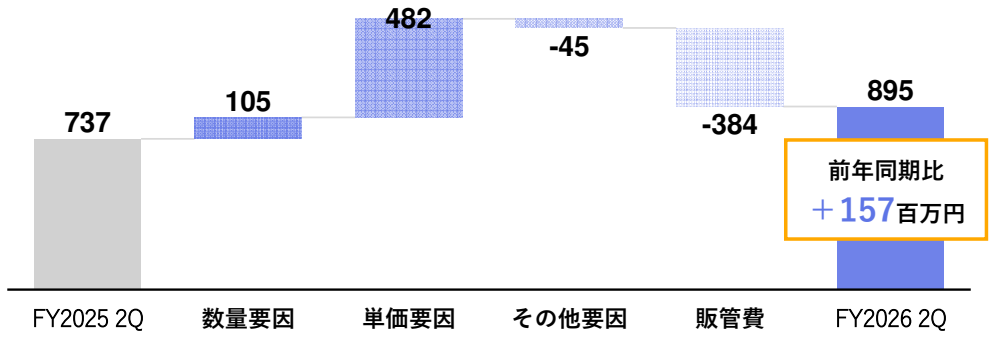
（百万円）



ガス関連事業

主に卸売部門における在庫評価の影響により増益

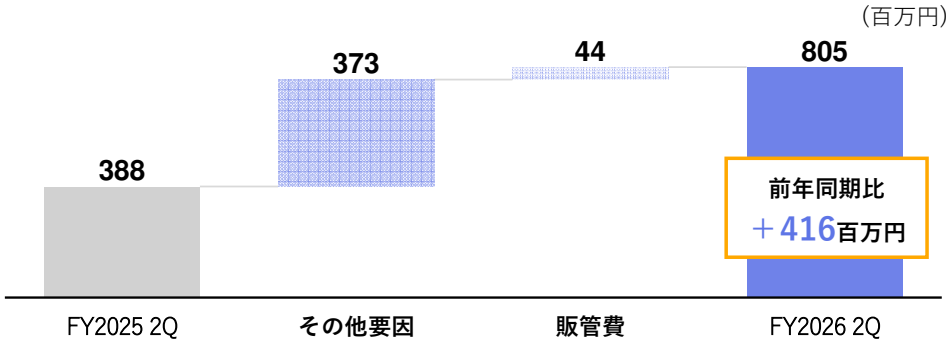
（百万円）



その他事業

金属製品等の洗浄・表面処理業は半導体製造装置向けの受注増加

（百万円）



Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

貸借対照表

Obbli 三愛オブリ株式会社

2025年度末

（百万円）

現金及び預金 48,728	有利子負債 4,874
その他流動資産 52,246	その他負債 84,464
固定資産 65,227	純資産 122,709 （自己資本比率 54.7%）
投資その他の資産 45,846	

総資産 212,048百万円

2026年度 第２四半期

（百万円）

現金及び預金 38,558	有利子負債 5,724
その他流動資産 54,792	その他負債 79,546 （支払手形及び買掛金 -2,552）
固定資産 69,778	純資産 124,836 （自己資本比率 56.3%） （当期純利益 +4,822） （期末配当 -3,094） （自己株式増加 -824）
投資その他の資産 46,977	

総資産 210,106百万円

純資産 利益剰余金の計上により2,126百万円増加

自己資本比率 支払手形及び買掛金・その他流動負債の減少により上昇

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

キャッシュ・アロケーションの状況

Obbli 三愛オブリ株式会社

2026年度 第２四半期

（百万円）

資金調達		（構成比）
営業に伴うキャッシュ創出（運転資金を除く）	9,755	(52.4%)
資産売却等	1,318	(7.1%)
手元資金	7,542	(40.5%)

資金活用			（構成比）
設備・事業投資		6,334	(34.0%)
株主還元	配当金支払	3,094	(16.6%)
	自己株式取得	836	(4.5%)
法人税等支払		2,488	(13.4%)
借入金等の返済		472	(2.5%)
仕入債務等の支払		4,766	(25.6%)
その他		625	(3.3%)

- 営業活動によって調達した資金を主に設備・事業投資および株主還元に活用した。
- 連結子会社で保有していた投資有価証券を一部売却した。
- 法人税等・仕入債務等の支払いには手元資金を使用している。

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

2 業績の進捗と株主還元

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

業績の進捗

Obbli 三愛オブリ株式会社

中東情勢に伴う石油製品やナフサの供給不足の影響を当初見込むも、第２四半期までの業績は順調に進捗
各商品の仕入に大きな問題は生じておらず、通期経常利益予想を130億円から150億円へ上方修正

	FY2026当初予想	FY2026 2Q	進捗率	FY2026修正予想	前期比
売上高	620,000百万円	301,942百万円	48.7%	630,000百万円	+3.0%
営業利益	12,000百万円	6,816百万円	56.8%	13,500百万円	+9.3%
経常利益	13,000百万円	7,523百万円	57.9%	15,000百万円	+11.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	8,200百万円	4,822百万円	58.8%	9,300百万円	+1.1%
１株当たり当期純利益	132.51円	78.03円	－	150.49円	
連結ROE(※)	7.1%	－	－	8.0%	

中期経営計画
2024年度－2026年度
目標

経常利益
130~150億円

連結ROE
8% 以上

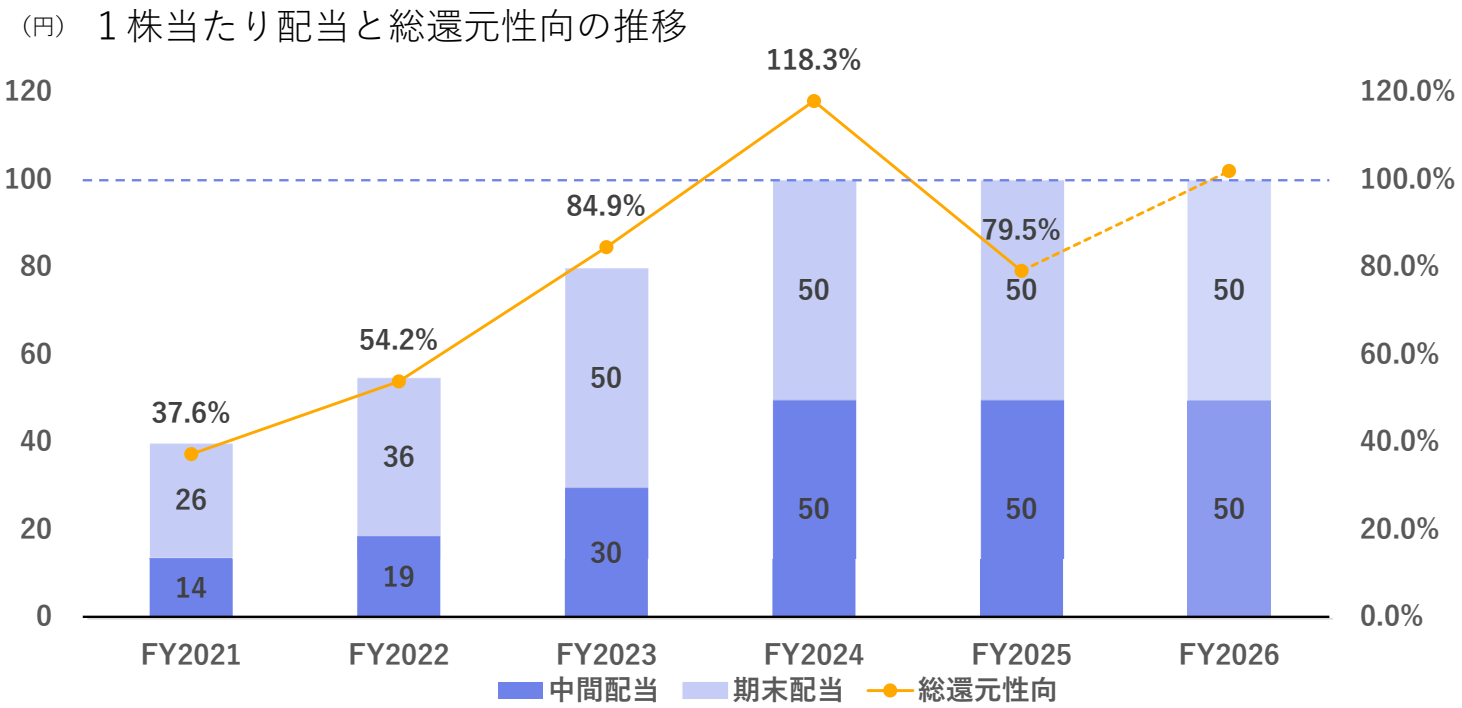
※ 連結ROEの予想は2026年3月時点の純資産および2026年度通期業績予想を基に算出

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

株主還元の状況

三愛オブリ株式会社

１株当たり年間配当予想は100円（中間配当50円、期末配当50円）を維持
2026年11月10日発表の業績予想の上方修正に合わせて、自己株式取得の増額および期間延長を決議
（修正後上限：150万株・35.5億円、取得期間：2026年８月７日～2027年３月31日）



中期経営計画
2024年度－2026年度
目標

1株あたり年間配当
100円を下限とする

総還元性向
100%を目指す

※ 2026年度の配当および総還元性向は2026年11月10日発表時の予想を基に記載・算出している。

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

PBR（株価純資産倍率）の状況

Obbli 三愛オブリ株式会社



中期経営計画
2030年度 目標

成長戦略・
資本政策の実行と
適正な株主還元により
PBR(株価純資産倍率)
1.0倍以上を
持続する

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

3 本事業年度のトピックス

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

当事業年度のトピックス

三愛オブリ株式会社

熊本地震への現場支援

- 2026年７月28日に発生した熊本地震によって、三愛オブリガス西日本株式会社のLPガス顧客が罹災
- 同社の九州エリア社員のべ176名が八代地区を中心に設備点検を実施し、二次災害を防止
- 昨年グループ会社となった熊本石油株式会社とも協力体制を築く
- 三愛オブリグループでは、義援金に加えて、災害に対する人的な支援も実施





上：三愛オブリ（東京）、三愛オブリガス西日本（福岡）本社と現地を結んで対策を協議

左：LPガス顧客を個別に訪問し、漏洩検査を実施



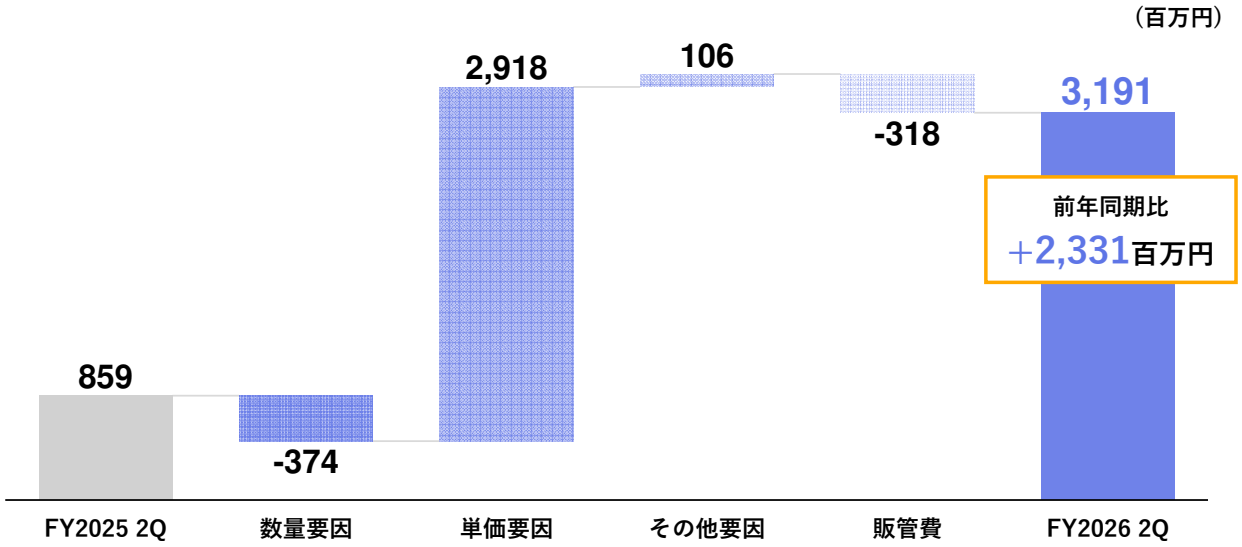
Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

参考資料（各セグメントの業績詳細）

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

石油関連部門（詳細）

Obbli 三愛オブリ株式会社



※各部門の金額は経常利益の内訳を表示

小売部門　500百万円

数量	レジャーシーズンの悪天候などにより減少(-)
単価	補助金の影響や競合との価格競争により利幅は悪化(-)

卸売部門　2,443百万円

数量	ガソリン・軽油・灯油・重油ともに減少(-)
単価	前年同期、市況の影響によりキグナス石油㈱の収益性が大きく悪化。今期は回復(+)

産業用燃料油販売部門　125百万円

単価	駆け込み需要などにより価格上昇(+)

産業用潤滑油販売部門　121百万円

単価	販売戦略の見直しなどにより改善(+)
その他	発電用ガスエンジンのメンテナンス、風力発電の内視鏡検査などの受注が好調(+)

小売部門

全国約140ヶ所の直営SS（サービスステーション）を運営し、主にレギュラーガソリンや洗車・車検等の自動車関連商品の販売をおこなっています。

卸売部門

全国約840ヶ所のSSを運営する特約店への石油製品等の卸売販売をおこなっています。

産業用燃料油販売部門

主に工業・業務用に重油・灯油等の販売をおこなっています。

産業用潤滑油販売部門

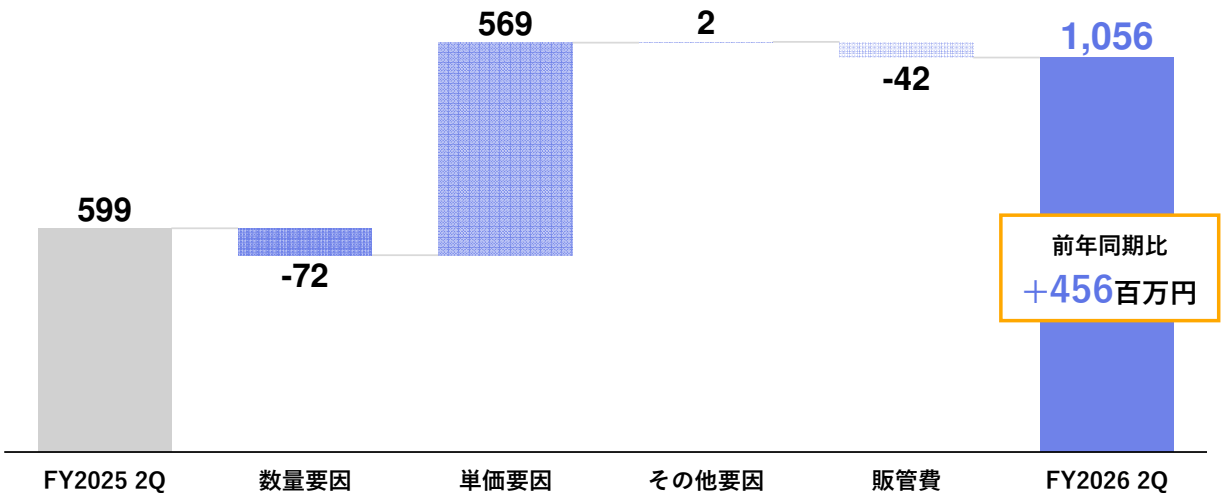
工場等に潤滑油を販売するとともに、風力発電やガスエンジン用のメンテナンス事業をおこなっています。

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

化学品関連部門（詳細）

Obbli 三愛オブリ株式会社

（百万円）



自動車用ケミカル商品
自社製品として製造・販売している洗車機薬剤や自動車メンテナンス用品です。

防腐・防かび剤
製品に増殖する微生物やカビを抑制する薬剤です。金属加工油などあらゆる製造過程において使用されています。

石油系溶剤
塗料やクリーニング薬剤などに使用される溶剤です。

粘着付与剤
粘着テープや接着剤に用いられる薬剤です。

機能化学品
潤滑油や金属加工油の添加剤に使われる高級アルコールや工業用・家庭用洗浄剤に用いられるキレート剤です。

※化学品関連事業のみ商品別の説明となっているため、商品区分には売上総利益の割合を表示

自動車用ケミカル商品 15.2%

数量	洗車薬剤の販売数量は微減(-)

防腐・防かび剤 26.4%

数量	販売数量は微減(-)
単価	高付加価値商品の拡販により増益(+)

石油系溶剤 40.6%

単価	駆け込み需要により価格上昇(+)

粘着付与剤 11.4%

単価	駆け込み需要により価格上昇(+)

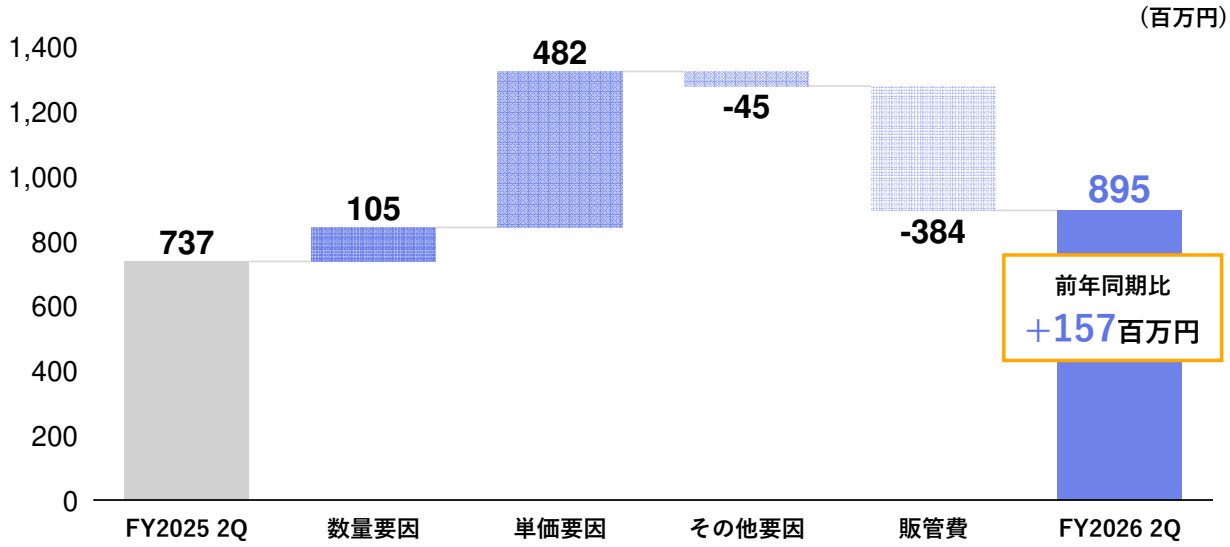
その他（機能化学品他） 6.4%

数量	高級アルコールなど販売は前年並みで推移

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

ガス関連部門（詳細）

Obbli 三愛オブリ株式会社



※各部門の金額は経常利益の内訳を表示

＜LPガス販売業＞

小売部門

関東・東海エリア、中国・近畿エリア、九州エリアでLPガス(液化石油ガス)を一般家庭、店舗などの業務用に供給しています。

卸売部門

関東・東海エリア、中国エリア、九州エリアでLPガスを販売する特約店への卸売販売をおこなっています。

＜天然ガス販売業＞

佐賀天然ガスパイプライン等を利用した工場等への供給、佐賀県内にある都市ガス会社、佐賀ガス㈱および伊万里ガス㈱を通して一般消費者への供給などをおこなっています。

また、LNG(液化天然ガス)のサテライト供給やオンサイトエネルギーサービスをおこなっています。

＜LPガス販売業＞ 679百万円

小売部門

数量　熊本石油㈱の加入などにより前年同期並み

卸売部門

数量　熊本石油㈱のグループ入りにより増加(+)

単価　在庫評価の影響により増益(+)

＜天然ガス販売業＞ 216百万円

家庭用

数量　平均気温の上昇などにより単位消費量が減少(-)

業務用・工業用

数量　工場の稼働率低下などにより減少(-)

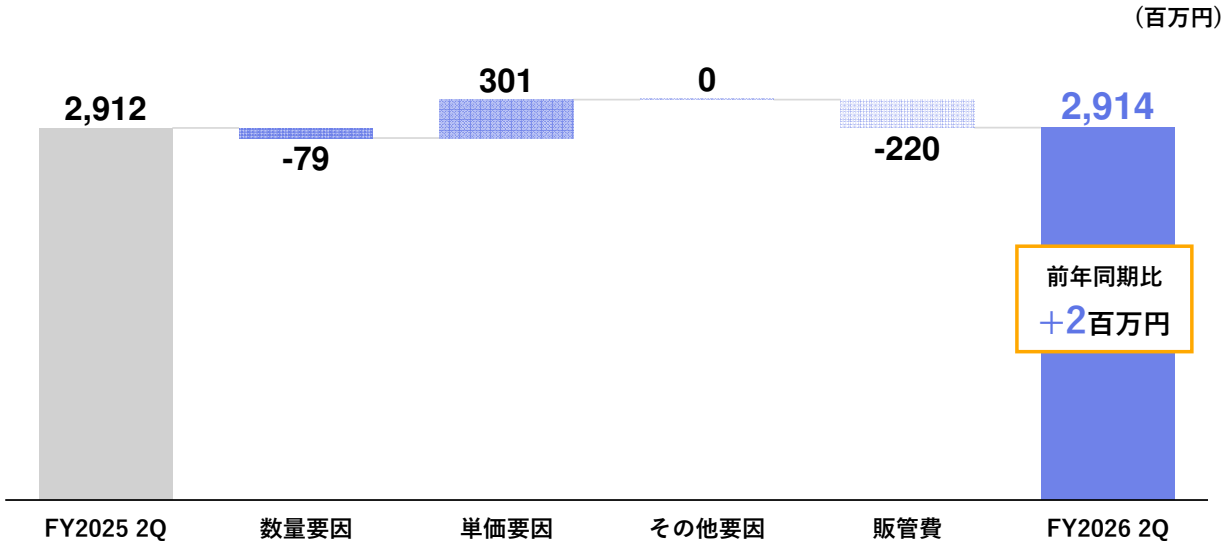
販売費及び一般管理費

人件費・荷造運送費等が増加(-)

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

航空関連部門（詳細）

Obbli 三愛オブリ株式会社



羽田空港

数量 国内線は燃料搬出量は天候不順などにより減少(-)
国際線は前年同期並みで推移

単価 給油手数料の単価は前年から上昇(+)

その他空港(25空港、2ヘリポート)

数量 給油数量は中国便の減便などもあったものの前期並みで推移

単価 給油手数料の単価は前年から上昇(+)

羽田空港

羽田空港において航空機燃料給油施設の運営と給油作業をおこなっております。

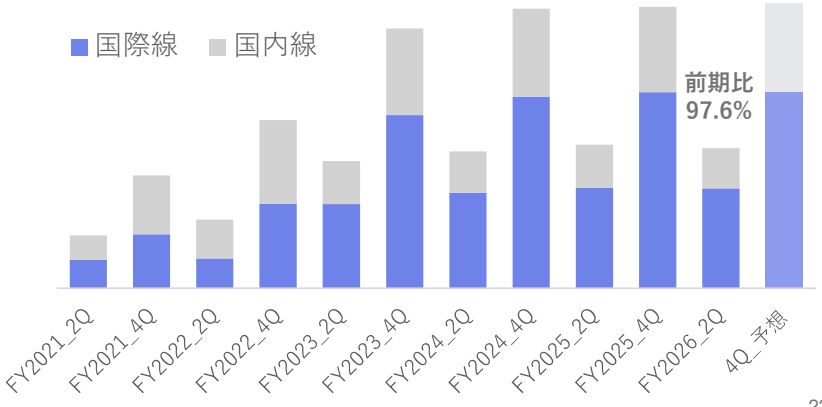
施設運営では、航空燃料の受入れ・施設の運転監視、数量管理、施設の点検・保守をおこなっております。給油作業は地下に埋設された配管を通して、給油車両を中継して航空機へ給油します。

なお、当社では航空燃料の売買をおこなっていません。

その他空港

北海道から沖縄まで全国27ヶ所(25空港、2ヘリポート)で給油業務や給油施設の管理等をおこなっています。

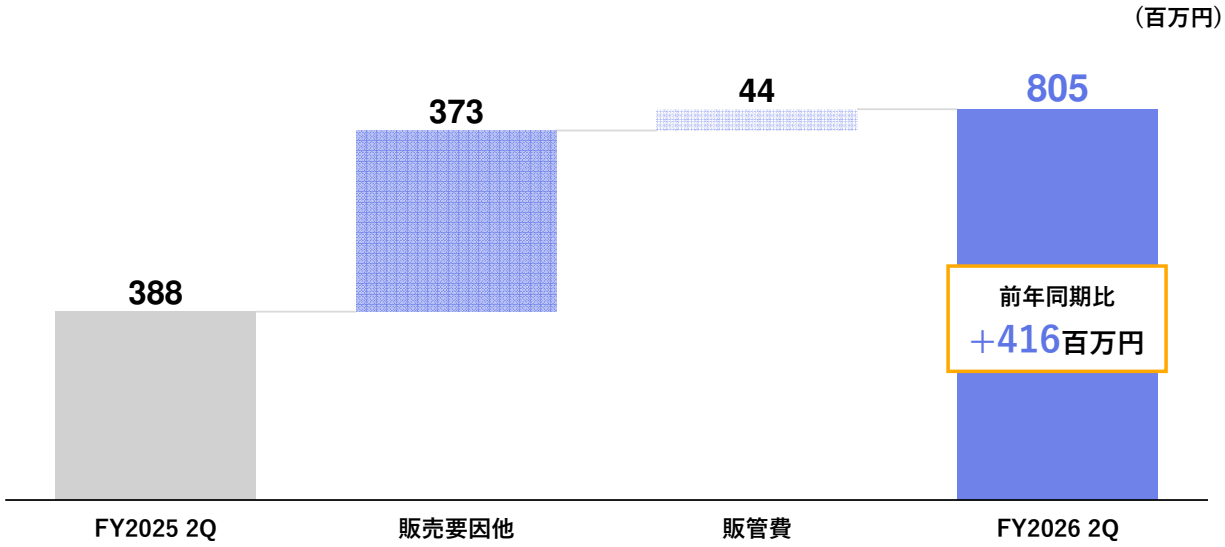
羽田空港 航空燃料搬出数量推移



Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD

その他事業（詳細）

三愛オブリ株式会社



※各事業の金額は経常利益の内訳を表示

金属製品等の洗浄・表面処理業 637百万円

販売他　半導体製造装置向けの受注が増加(+)

建設工事業 126百万円

販売他　グループ外からの工事受注が減少(-)

不動産賃貸・ソーラー事業 43百万円

金属製品等の洗浄・表面処理業

金属製品の精密洗浄・化学研磨・電解研磨をおこなっています。近年は半導体需要の高まりを受けて半導体製造装置の部品洗浄が大きくなっています。

建設工事業

石油ケミカル関連施設、ガス関連施設、産業施設、機械設備の新設・リニューアル工事をおこなっています。当社グループ内の工事を請け負う他、異業種の請負もおこなっています。

不動産賃貸・ソーラー事業

所有不動産の有効活用や太陽光発電設備の運営をおこなっています。

Copyright©2026 SAN-AI OBBLI CO.,LTD